

STEP

1

9/11 第1回プロジェクト科目

- ・オリエンテーション
- ・コアコンセプト説明

9/15~17 岩室視察・調査

9/15 第5回合同会議（岩室）

STEP

2

9/25 第2回プロジェクト科目

- ・「まちづくり講義1」宮島慎吾教授  
～いわむろのみらいと観光複合施設運営計画～
- ・各チームによる中間報告およびディスカッション

STEP

3

10/2 第3回プロジェクト科目

- ・「まちづくり講義2」
- ・各チームによる中間報告

STEP

4

10/16 第4回プロジェクト科目

- ・「まちづくり講義3」
- ・各チームによる中間報告

10/31~11/2 岩室視察・調査

11/1 中間プレゼンテーション（岩室）

STEP

5

11/13 第5回プロジェクト科目

- ・「まちづくり講義4」
- ・各チームによる中間報告およびディスカッション

STEP

6

11/27 第6回プロジェクト科目

- ・最終プレゼンに向けて各チームの中間発表
- ・質疑応答および講評

STEP

7

12/11 第7回プロジェクト科目

- ・最終プレゼンに向けてプレゼンリハーサル
- ・質疑応答および講評

12/17 第6回合同会議（ムサビ）

- ・後期最終プレゼンテーション

## プロジェクトブック

現代GP「いわむろのみらい」創生プロジェクト

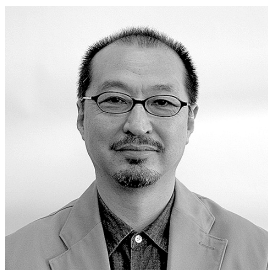
## プロジェクトコーディネーション 及び 観光複合施設運営計画

通年 <毎週 火5限> 9-722  
コアグループ9名(3年生9名)

### ■プロジェクト概要

各学科で行われる「いわむろのみらい」創生プロジェクトにおける様々な計画に対し、コアコンセプトにそったトータルコーディネーションを行う。そのために学科・学年・地域の枠をこえて、きめ細やかな情報交換や調査などを行い、プロジェクト全体のコーディネーションを行う。そして平成22年オープン予定の観光複合施設の運営及び関連するデザインについての提案を行う。

### ■指導教員



宮島 慎吾 教授

### ■プロジェクト計画

STEP 1 ・第1回プロジェクト科目においてコアコンセプト説明

STEP 2 ・各プロジェクトのコーディネーション  
・観光複合施設の運営カレンダーの原案作成

STEP 3 ・各プロジェクトのコーディネーション  
・観光複合施設のインテリアイメージ検討案作成

STEP 4 ・各プロジェクトのコーディネーション  
・第2回岩室視察において観光複合施設運営計画のプレゼンテーション

STEP 5 ・各プロジェクトのコーディネーション  
・観光複合施設のアイデンティティ展開案づくり

STEP 6 ・各プロジェクトのコーディネーション  
・観光複合施設の商品政策および全体運営について

STEP 7 ・各プロジェクトのコーディネーション  
・観光複合施設の全体運営計画について  
・第6回合同会議においてプレゼンテーション

## 道の計画

後期 <毎週 木3・4限> 工房 3-102  
参加学生6名(4年生4名・3年生2名)

### ■プロジェクト概要

いわむろへの道、いわむろの道(山辺の道、温泉街の道、水辺の道)、いわむろからの道、山、海、川、池、街、田、畑、すべてが身近にある。いわむろの一年、自然、四季の豊かさ、年中行事、それらすべてを観光資源に、日本のふるさと、なつかしい“和”のイメージの道空間、景観づくりを提案。

### ■指導教員



長尾 重武 教授

### ■プロジェクト計画

STEP 1 ・メインコンセプト「いわむろ温泉とはなにか」策定  
環境分析については、昨年の立花ゼミの成果を受け継ぎ、ガイドブックで岩室温泉はどのように紹介されているか調査。

STEP 2 ・フィールド調査、ヒアリング調査を行う。  
・いわむろの道(山辺の道、温泉街の道、水辺の道)調査、分析。  
・いわむろの四季、年中行事ヒアリング。

STEP 3 ・つづいて以下の調査を行う。  
いわむろへの道、いわむろからの道

STEP 4 ・1～3の調査分析にもとづいて企画、計画、設計。  
・温泉街の道空間、景観づくり提案、ポケットパークづくり提案。

STEP 5 ・1～3の調査分析にもとづいて企画、計画、設計  
・山辺の散策路の道空間、景観づくり提案、ポケットパークづくり提案。

STEP 6 ・1～3の調査分析にもとづいて企画、計画、設計  
・水辺の散策路の道空間、景観づくり提案、ポケットパークづくり提案。

STEP 7 ・1～6の総まとめ  
・プレゼン準備、実施

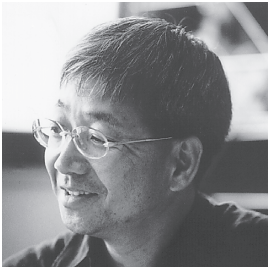
## 光の環境デザイン計画

後期 <毎週 月・木 1・2 限> 10-208A  
参加学生 10名 (3年生9名・院1名)

### ■プロジェクト概要

昼と夜が交差する黄昏とき、岩室温泉のあちこちに芸術的な光景が出現する。観光客は風呂上りの涼風を楽しみながら夕暮れの町を散策する。温泉郷の豊かな自然と美しい闇を背景に、様々な現代光が自然環境にインсталレーションされている。昼に普通の景色が夜には一変する。この光の環境デザイン計画では、都会に失われた闇と光の美しい関係を再生することで、岩室の魅力を夜間にまで増幅したいと考えている。

### ■指導教員



面出 薫 教授

### ■プロジェクト計画

- STEP 1
  - ・オリエンテーション
  - ・コンセプト、デザインの仮説検討
- STEP 2
  - ・現地の光環境調査
  - ・照明実験とスキマティック・デザイン・ワークショップ
- STEP 3
  - ・環境調査のまとめを分析
  - ・照明手法の検討
  - ・光のインсталレーション実験準備
- STEP 4
  - ・第2回岩室視察において光のインсталレーション実験
  - ・第2回岩室視察において中間プレゼンテーション
  - ・照明効果のまとめ、撮影資料の製作
- STEP 5
  - ・インсталレーションのまとめ
  - ・光のインсталレーション・マップの製作
- STEP 6
  - ・総合的シナリオの整理調整
- STEP 7
  - ・プレゼンテーション準備
  - ・第6回合同会議において最終プレゼンテーション

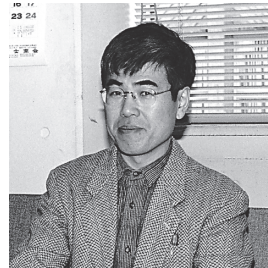
## 地場産品デザイン計画

後期 <毎週 月または火 5 限> 8-クラフト研究室  
参加学生 7名 (4年生2名・3年生5名)

### ■プロジェクト概要

岩室温泉にて生産される商品をより豊かに体験できる空間や物品を計画します。工芸工業デザイン学科の特徴を生かし、様々な素材の可能性を用いて空間全体として商品を体験する場となります。対象商品としては近隣には7つの造り酒屋があるなど岩室温泉の地域性が強い「酒」等が考えられますが他の可能性も検討する予定です。

### ■指導教員



十時 啓悦 教授



伊藤 真一 専任講師

### ■プロジェクト計画

- STEP 1
  - ・現地調査、調査整理
  - ・テーマ、コンセプト計画
- STEP 2
  - ・基本構想計画
- STEP 3
  - ・スケッチおよびラフモデルによる構想の展開
- STEP 4
  - ・中間プレゼンテーション準備
  - ・第2回岩室視察において中間プレゼンテーション
  - ・問題点抽出と解決方法検討
- STEP 5
  - ・ラフモデルおよび図面による構想の展開
- STEP 6
  - ・最終モデル制作
- STEP 7
  - ・最終プレゼンテーション準備
  - ・第6回合同会議において最終プレゼンテーション

## サイン計画

通年 <毎週 金5限> 10-309  
参加学生 5名 (3年生2名・2年生3名)

### ■プロジェクト概要

岩室温泉へのアクセスを重点に、将来構想に寄与するような街づくりの観点にたったサインシステム(標識・マークなど)を計画する。計画に当たっては、住民・商業・顧客からの視点を調査・集約し、また各プロジェクトと連携し、相互関係の中で岩室らしいサインシステムを模索していく。最終的には、総意に基づいた斬新なサインシステムの計画を目指す。サインとしてのピクトグラムと地図を作成し、人の移動の導線とサインとの関係をシミュレーションし提示する。

### ■指導教員



後藤 吉郎 教授

### ■プロジェクト計画

- |           |  |
|-----------|--|
| STEP<br>1 | ・オリエンテーションと現地調査<br>・前期から継続のサインの試作と導線のシミュレーション<br>・昨年からの持ち越しのマーク・ロゴ評価調査 |
| STEP<br>2 | ・サインの再検討<br>・マーク・ロゴ完成  |
| STEP<br>3 | ・サインの再検討<br>・サインの評価実験のリハーサル  |
| STEP<br>4 | ・SD法による評価実験の実施(本学生と岩室の皆さん)<br>・第2回岩室視察において中間プレゼンテーション                  |
| STEP<br>5 | ・評価実験の分析結果からデザインの再検討   |
| STEP<br>6 | ・岩室におけるサインシステムあり方  |
| STEP<br>7 | ・第6回合同会議において最終プレゼンテーション  |

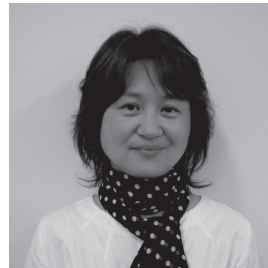
## ワークショップ計画

通年 <毎週 金1・2限> 10-305  
参加学生 11名 (3年生11名)

### ■プロジェクト概要

「岩室地区の暮らしと人」をテーマとして、岩室スタイルのまちづくりを目的にしたコミュニティワークショップ(体験共同学習/みんなでわがまち発見!)を計画、実行、記録する。このプロジェクトでは、暮らしの営みと変化、未来への期待を表出させる創造的なプロセスを、岩室の方々とともに考えていきたい。後期は、中学校などの協力を得ながら若者を対象とする。ワークショップの成果は、学校の体験学習プログラムとして活用されることをめざす。

### ■指導教員



齋藤 啓子 教授



花崎 攝 非常勤講師

### ■プロジェクト計画

- |           |  |
|-----------|--|
| STEP<br>1 | ・オリエンテーション<br>・前期の調査と「みんなでつくろう岩室甚句」の評価           |
| STEP<br>2 | ・岩室視察にて住民の方々との対話<br>・中学校の先生との対話<br>・ワークショップの目標検討 |
| STEP<br>3 | ・視察調査の整理<br>・事例研究<br>・ワークショップの計画、準備              |
| STEP<br>4 | ・岩室の住民の方々ワークショップの実施<br>・第2回岩室視察において中間プレゼンテーション   |
| STEP<br>5 | ・ワークショップの評価<br>・ワークショップの記録作成                     |
| STEP<br>6 | ・最終プレゼンテーションの準備                                  |
| STEP<br>7 | ・第6回合同会議において最終プレゼンテーション                          |

## サウンドスケープ計画

後期 <毎週 水4限>

参加学生 4名 (4年生1名・3年生1名・1年生2名)

### ■プロジェクト概要

岩室の魅力を「音」という視点から再発見し、地域にふさわしい「サウンドスケープ(音風景)」を計画する。音の背景には街の歴史があり、住んでいる人たちの生活がある。そのことを踏まえて、過去の音風景と現在の音風景を調査し分析する。サウンドマップ作りや岩室の住民との交流を通じて、岩室の保存したい音、岩室によみがえらせた音、岩室で新たに生み出したい音を見つけ、未来のサウンドスケープを計画する。

### ■指導教員



白石 美雪 教授

### ■プロジェクト計画

- |           |   |
|-----------|---|
| STEP<br>1 | ・オリエンテーション<br>・現地での「音の聴き歩き」   |
| STEP<br>2 | ・サウンドマップ作り<br>・岩室の音風景の現状を知る   |
| STEP<br>3 | ・サウンドマップ作り(継続)<br>・岩室の音風景の変遷をさぐる  |
| STEP<br>4 | ・第4回プロジェクト科目での発表<br>・サウンドスケープ・デザインのコンセプト作り<br>・岩室での中間報告、現地調査<br>・調査の分析、音の評価 |
| STEP<br>5 | ・コンセプトからプランニングへ   |
| STEP<br>6 | ・プランニングからデザインへ  |
| STEP<br>7 | ・最終報告に向けてのまとめ<br>・第6回合同会議において最終プレゼンテーション                                    |

## メディアデザイン

後期 9-404

参加学生 7名 (2年生1名・3年生6名)

### ■プロジェクト概要

「いわむろのみらい」創生プロジェクトは、現代GP採択の教育プログラムの中で、対象地域が大学から遠隔地にあることを特徴とする。そのためもあり、両者をつなぐメディアは重要である。これまで7号発刊された「いわむろのみらい新聞」を継承し、さらに充実したものとするべく、活動全体を取材し新聞とする。合同会議等での配付を予定し、半期で8—12号の発刊を計画。プロジェクトのドキュメントとすることを旨とする。

### ■指導教員



森山 明子 教授

### ■プロジェクト計画

- |           |  |
|-----------|--|
| STEP<br>1 | ・オリエンテーション：新聞というメディア<br>・「いわむろのみらい新聞」8号の紙面検討                                 |
| STEP<br>2 | ・取材の基本<br>・第5回合同会議記事化について  |
| STEP<br>3 | ・記事作成の基本<br>・「いわむろのみらい新聞」9号の企画検討   |
| STEP<br>4 | ・中間プレゼンの準備<br>・「いわむろのみらい新聞」9号の紙面検討<br>・第2回岩室視察において中間プレゼンテーション                |
| STEP<br>5 | ・中間プレゼン内容全体の記事化の検討<br>・「いわむろのみらい新聞」10号の企画検討                                  |
| STEP<br>6 | ・「いわむろのみらい新聞」10号の紙面検討  |
| STEP<br>7 | ・第6回合同会議での最終プレゼンテーションの準備<br>・第6回合同会議において最終プレゼンテーション<br>・最終プレゼン全体の記事化(11号)の検討 |



